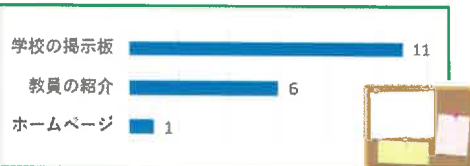




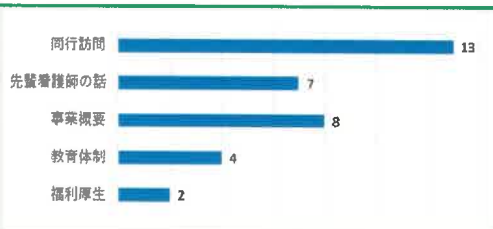
2025.10 発行

今年の夏は梅雨明けが早く、大変厳しい暑さとなりました。高温多湿的环境下では、体温調節機能が崩れやすいため、訪問看護師は、利用者宅へ訪問するとすぐに室温をチェックし、体調確認後水分補給を促すなどきめ細やかな対応をしています。
この夏、15名の学生が11事業所でインターンシップを行い、訪問看護を間近で体験することができました。
参加した学生は、病院とは違う訪問看護の役割ややりがいに魅力を感じることができました。

1 インターンシップはどこで知りましたか



3 インターンシップのどんなところに興味がありましたか



2 参加の動機



4 インターンシップは満足しましたか

15人全員が満足と回答

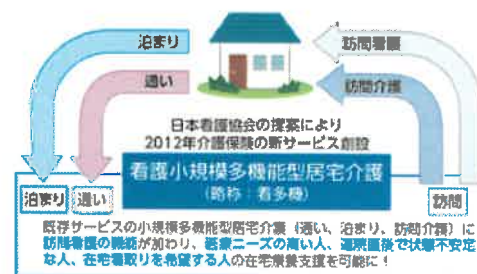
5 訪問看護ステーションへの就職について



看護小規模多機能型居宅介護施設（看多機）とは

日本看護協会の提案により2012年に創設された看多機。それまでの「小規模多機能型居宅介護」に、「訪問看護」の機能を加えることで、受入困難だった医療ニーズの高い人、退院直後で状態の不安定な人、在宅看取りを希望する人の在宅療養が可能になりました。また、利用者のニーズだけでなく、家族のレスパイトや仕事との両立支援の役割もしています。

創設から13年が経過し、現在、広島県内には38の事業所があります。少しずつ周知され、最近ではインターンシップや他の研修の実習先に看多機を希望する人が増えています。



日本看護協会発行「協会ニュース」より

看多機の管理者さんに聞きました!!



やました かな
山下 加奈 さん

看護小規模多機能型居宅介護ささか

（東広島市西条町土与丸1246）

登録人数 29 人

従業員：看護師 6 名、介護士 9 名、OT 1 名、ST 1 名、事務員 2 名



「看護小規模多機能型居宅介護ささか」外観

Q：看多機のメリットを実感する事例がありますか

業務としては多岐に渡りますが、同じスタッフが継続してサービスを提供していますので利用者のことがよくわかり、生活に寄り添った看護を提供することができます。訪問した際、利用者のその日の状態を見て、予定になかった「泊まり」や「通い」のサービスを柔軟に調整できることが看多機の一番のメリットであると思います。訪問したとき、状態が悪く、不安が強いと判断すれば看多機にお連れして泊まっていただきます。その反対に、調子がよさそうな利用者さんには、急遽「通い」サービスを追加して、デイサービスで入浴していただくこともあります。

Q：施設の中で看護師の果たす役割や普段の仕事内容、訪問件数などをお聞かせください

訪問看護以外の部分では看護師も介護士も同じ業務を分け隔てなく行い、チームとして業務が円滑に進むようになっています。ショートステイの泊まり業務は介護士に任せていますが、医療的な側面では看護師がオンコールに対応します。訪問看護は多い時で一日 7 件程度あります。しかし、訪問看護ステーションとは違い、訪問時間が 30 分刻みではなく、10 分程度の訪問を頻回に行うこともあります。

Q：新卒看護師の就職は可能ですが、教育体制を教えてください

細かなチェックリストを用いて順序良く業務を覚えていけるようにしています。新卒で就職できないことはありませんが、まずは病院で看護技術、看護の考え方、医師への報告の仕方などを学ぶ方が、在宅での看護がより深まると思います。

Q：訪問看護師を目指す看護学生にメッセージをお願いします

利用者さんのことを病院よりもより近くで考えてケアできることが魅力です。その人にとっての最良を考えて生活面から支えていくため、生活を支えていきたい方にとってはとてもやりがいのある仕事であると思います。一緒に頑張りましょう！

学生の感想

- 訪問看護は病院と比べて一人ひとりに時間をかけることができると知った。また、信頼関係を築くことが大切と思った。訪問看護は利用者とその家族にも積極的に関わる仕事であると知り、よりこの仕事に興味を持った。（大学2年生）
- 病院勤務とは違う、家族や各医療機関、その他多くの支えで成り立つ新しい看護の形を知ることができた。（大学1年生）
- 訪問看護の魅力や、看護の道には様々な選択肢があることを学ぶことができた。利用者さんとの距離の近さや家族と一緒に療養を支えることに大きな魅力を感じた。（大学2年生）
- 実際の現場を知ること、見ることができ、ますます訪問看護ステーションに勤務したいと思った。（看護学校2年生）
- 患者ひとり一人の自立度や生活背景、家族の支援体制を踏まえた個性のある看護が提供されていたことが印象に残った。また、ヘルパーとの連携も在宅療養の上で重要であると学んだ。将来訪問看護への就職も考えており、今回の経験はその目標に向けて貴重な学びとなった。（大学3年生）
- 一日を通して病棟とは異なる看護のあり方ややりがいを学ぶことができた。振り返りの時間には、看護師としての働き方や訪問看護の現状、地域格差など現場で働く生の声を聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができた。（大学1年生）

管理者のご意見・感想

- 100歳を超える利用者宅へ訪問した学生は、利用者が自ら側臥位になったり、コミュニケーションが取れることなどを見て、「持てる力」にびっくりしていました。
- 学生が、「在宅看護」に興味をもって下さり嬉しく思います。将来のキャリアプランに在宅看護も視野に入れていただくと幸いです。
- 実習でどこまで経験しているのか、事前に体験したいことの情報等があれば、当日の内容が決定しやすい。

今回のインターンシップは令和8年3月です。たくさんの方の参加をお待ちしています!

(公社) 広島県看護協会